

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年3月23日（水）

2 確認箇所

サブドレン集水タンクNo. 7周辺

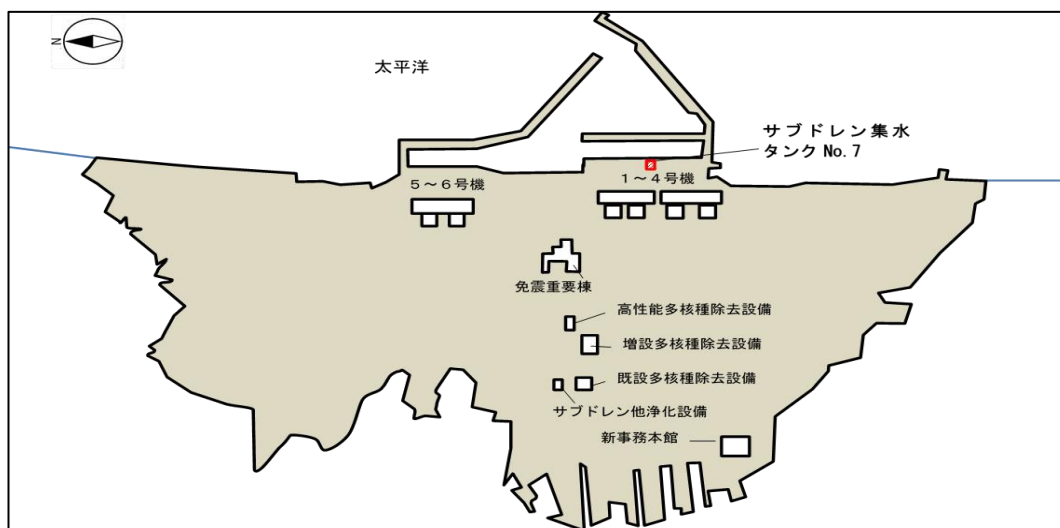
3 確認項目

サブドレン集水タンクNo. 7 接続配管からの水の漏えい状況

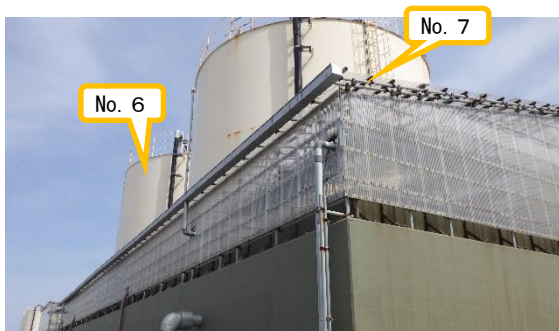
4 確認結果の概要

令和4年3月21日の午前7時22分頃、サブドレン集水タンクNo. 7に接続する配管から水の漏えいが発生し、タンク周囲を囲む仮堰内へ漏えいした水が流れ込んだ。拡大防止対策として、中継タンクと漏えい箇所の間の弁の「閉」操作を実施したところ、5秒に1滴程度まで漏えいが抑制された。その後、漏えい箇所周辺の養生が実施されていることから、その状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・漏えいが確認された配管はビニールで養生されていた。（写真2）
- ・現場確認時も5秒に1滴程度の漏えいが継続されていた。（写真3）
- ・閉操作された手動弁は確認時も引き続き「閉」となっていた。（写真4）
- ・東京電力では、堰内の水についてトリチウムを分析した結果、検出限界値（77Bq/L）未満であったことから、仮堰内の水は雨水であると判断しており、今後は漏えい箇所について確認等を実施していくとしている。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



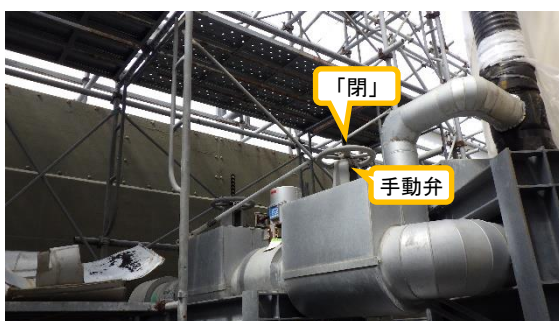
(写真1)
サブドレン集水タンク外観
(南西側から撮影)



(写真2)
漏えいが確認された接続管の状況
(西側から撮影)



(写真3)
漏えいの状況
(写真2 配管下部)



(写真4)
「閉」操作された弁の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。